



平成 29 年 4 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー エ ヌ ア イ グ ル ー プ  
代 表 者 名 取 締 役 代 表 執 行 役 社 長 兼 C E O イ ン ・ ル オ  
(コード番号: 2160 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 代 表 執 行 役 C F O ト ー マ ス ・ イ ー ス ト リ ン グ  
(TEL. 03-6214-3600)

### Berkeley Advanced Biomaterial, Inc. の買収について

本日、当社取締役会において、さらなる詳細な精査評価作業の結果、問題がないこと等の一定の条件の下で、当社は100%子会社であるGNI USA, Inc. (所在地: 米国デラウェア州、CEO: Ying Luo、以下「GNI USA」といいます。)を通じて、Berkeley Advanced Biomaterial, Inc. (所在地: 米国カリフォルニア州、代表取締役: François Génin, Ph. D.、以下「BAB」といいます。)を買収することを決議し、同日付で当該買収に関する拘束力のある覚書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、米国税法等の関係もあり、形式的には、BABが子会社を設立し、資産、営業等の全てを当該子会社に譲渡し、その後、当社が当該子会社の70%を取得し、連結子会社化することを予定しております。詳細につきましては、決定次第速やかにお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 株式の取得の理由

当社は、アジアに患者の多い疾患を適応症とした複数の創薬候補化合物をパイプラインに持ち、先端バイオ技術を活用して創薬活動を行っている創薬企業グループであります。自社グループの研究により開発された創薬候補物より、開発パイプラインを充実させると同時に、その一部を外部製薬企業にも共同研究を通じて提供し、さらなる価値創造につなげております。BABを買収することで、当社の既存の製品分野が多角化され、製品分野及び営業地域が単一であることのリスクを低減することができます。また、BABから見込まれる米国での収益及び健全な財務基盤を享受することができ、当社の早期黒字化が期待されます。

当社は、現在、主として中国において事業を運営しており、また、取扱製品は、低分子化合物である医薬品であります。当社としては、営業地域、製品分野が単一であることのリスクを認識しており、企業経営の安定化、収益の拡大、収益性の向上のためには、他の医療分野や他の地域への進出が喫緊の課題であると認識しております。これまでもこの対策として、他地域への進出及び当社の事業分野と類似するものの異なる事業分野への進出を検討してまいりました。この多角化の一つがF351の米国での開発であります。

F351の米国での開発に関しては、2016年5月3日にはFDAから通知を受領し、追加的に、米国GLP基準に準拠した最低8日間の毒性試験結果の提出を要請されました。2016年7月には、当社は、米国GLP基準に準拠した試験を第三者に委託しました。同試験が終了次第、試験結果をまとめた補足資料を、IND申請の補完資料として、2017年上半期中に提出する予定です。

これに加えて、異なる事業分野への進出の方法として、当社の営む医薬品の開発、製造、販売に近い分野である医療機器、医療材料関連分野も視野に入れて、これまで

も企業買収を企図し、買収先を探しておりましたが、この度、当社の今後の戦略に合致する買収相手先を認識しました。買収候補会社は、米国カリフォルニア州の生体材料分野で事業を展開するBABです。BABは、ヒドロキシアパタイト及びカルシウムを主成分とする生体材料（代替骨）の製造に特化し、米国及び欧州各国内での整形外科領域の手術や脊椎外科手術で用いられている移植可能な生体吸収性のある生体材料を開発、販売しております。

BABを買収することにより、生体材料の開発及び販売事業を当社の事業ポートフォリオに加えることができ、経営の多角化を図ることができます。さらに、BABから見込まれる中国国外からの安定的な収益及びキャッシュ・フローにより、財務基盤の安定と、事業の持続的成長及び企業価値向上を図ることが可能となります。加えて、今後、BABの製品群を有望市場である日本及び中国において展開することや医薬品と生体材料の融合による新たな製品開発を行うことによる新規事業分野への展開も可能となります。

BABの買収後、当社は、世界最大の医療市場である米国と成長著しい医療市場である中国で、収益性の高い同規模の医療関連事業を展開することができます。これにより、当社の創業以来の事業戦略である、中国市場からの好機を捉えての他の主要市場への事業展開を実現することができます。さらに、当社が、今後日本市場においても製品を販売する機会を得ることができます。

## 2. GNI USAの概要（平成29年3月31日現在）

(1) 名 称	GNI USA, Inc.
(2) 所 在 地	Delaware Intercorp, Inc., 113 Barksdale Professional Center, Newark, Delaware 19711, USA
(3) 代 表 者	Ying Luo, Ph.D., Chief Executive Officer
(4) 事 業 内 容	株式等保有、米国における新薬開発
(5) 設 立 年 月 日	平成27年1月5日
(6) 資 本 金	1 USドル

## 3. BABの概要（平成29年3月31日現在）

BABは、人口セラミック、コラーゲン、移植組織等一連の生体材料を提供しております。AATB認証の登録ティシューバンクであり、ナノ結晶ヒドロキシアパタイト(HAP)と純粋コラーゲン技術を採用した一連の生体材料関連製品群を提供しています。これらの製品群は、吸収率を最適化しカルシウム塩と牛コラーゲンを結合させることにより生成されます。細粒、錠剤、皮状、注入可能なパテ等の形状で提供されます。また、BABは、同種移植組織製品も提供しています。

(1) 名 称	Berkeley Advanced Biomaterial, Inc.
(2) 所 在 地	901 Grayson Street, Suite 101 Berkeley CA 94710 USA
(3) 代 表 者	François Génin, Ph.D., Chief Executive Officer
(4) 事 業 内 容	生体材料の開発・製造・販売
(5) 設 立 年 月 日	平成8年10月

(6) 資 本 金	1,614 千 US ドル		
(7) 大 株 主	François Génin, Ph.D. Ping Luo, Ph.D.		
(8) 上場会社と当該会社の関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係及び取引関係はありません。当社と当該会社との間には、当社 CEO Ying Luo の姉が対象会社の大株主であるという人的関係があります。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決 算 期	平成 26 年 12 月期	平成 27 年 12 月期	平成 28 年 12 月期
総 資 産	5,207 千 US ドル (567,568 千円)	9,930 千 US ドル (1,082,415 千円)	13,227 千 US ドル (1,441,828 千円)
売 上 高	17,265 千 US ドル (1,881,908 千円)	15,734 千 US ドル (1,715,054 千円)	15,288 千 US ドル (1,666,495 千円)
当 期 純 利 益	8,881 千 US ドル (968,114 千円)	6,424 千 US ドル (700,312 千円)	6,170 千 US ドル (672,612 千円)

換算レートは平成29年4月14日三菱東京UFJ銀行公表のT.T.M. 109.22円の小数点以下を切り捨てた109円を採用しています。

#### 4. BABの大株主の概要

(1) 氏 名	François Génin, Ph.D.
(2) 住 所	アメリカ合衆国カリフォルニア州バークレー市
(3) 上 場 会 社 と 当該個人の関係	当社と当該個人との間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

(1) 氏 名	Ping Luo, Ph.D.
(2) 住 所	アメリカ合衆国カリフォルニア州バークレー市
(3) 上 場 会 社 と 当該個人の関係	当社と当該個人との間には、記載すべき資本関係及び取引関係はありません。当社と当該個人との間には、当該個人が当社 CEO Ying Luo の姉であるという人的関係があります。当社は、第三者アドバイザーからの助言に従い、当社としての意思決定の独立性を確保するために必要な追加措置を講じております。具体的には、当社 CEO である Ying Luo は、本件に係る当該個人との交渉に一切関わらず、本件に係る取締役会において議論に加わらず、また、議決権の行使もしないという措置等を講じております。

#### 5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：-%)
---------------	------------------------------------

(2) 取得株式数	未定 (議決権の数：未定)
(3) 取得価額	BAB が設立する予定の子会社の普通株式： 約 59 百万ドル (6,500 百万円) (予定 (※)) アドバイザー費用等 (概算額)： 91 千ドル (10 百万円) 合計 (概算額)： 59.7 百万ドル (6,510 百万円) ※取得価額には株式取得に係る契約締結から譲渡実行日の間に設けられた基準日までの現預金変動等が反映される見込みのため、上記数値は概算にて記載しております。換算レートは平成 29 年 4 月 14 日三菱東京 UFJ 銀行公表の T. T. M. 109.22 円の小数点以下を切り捨てた 109 円を採用しています。
(4) 異動後の所有株式数	未定 (議決権の数：未定) (議決権所有割合：70.0%)

## 6. 日程

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| (1) 取締役会決議日       | 平成 29 年 4 月 18 日      |
| (2) 覚書締結日         | 平成 29 年 4 月 18 日      |
| (3) 株式取得に関する契約締結日 | 平成 29 年 7 月 31 日 (予定) |
| (4) 株式譲渡実行日       | 平成 29 年 7 月 31 日 (予定) |

(注) 株式取得に関する契約の締結及び株式譲渡の実行に際しては、さらなる詳細な精査評価作業の結果、問題がないこと等の一定の条件が充足される他、当社が、BAB 買収のための必要資金を調達できていることが必要であり、これらの条件が満たされなかった場合、当該買収が実施されない可能性があります。

## 7. 取得価額の算定根拠

当社は、第三者算定機関からの類似会社比較法、類似取引比較法等の評価結果に基づき、売主との交渉の結果、上記の取得価額にて合意いたしました。なお、取得価額には株式取得に係る契約締結から譲渡実行日の間に設けられた基準日までの現預金変動等が反映される見込みのため、取得価額が変動する可能性があります。

## 8. 今後の見通し

本件による平成 29 年 12 月期の当社業績に与える影響につきましては、平成 29 年 8 月から 12 月までの 5 ヶ月間の BAB の業績予想を加味し、平成 29 年 2 月 15 日に公表した平成 29 年 12 月期の業績予想を修正することといたしました。つきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。今後、さらなる詳細な精査評価作業を行い、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、平成 29 年 2 月 23 日に開示したアイスリーユイの新保険目録掲載に関するお知らせに係る平成 29 年 12 月期連結業績への影響は、現在精査中ですが、変更する必要が

生じた場合には、速やかに開示します。

#### 9. BAB買収後の経営

当社は、株主の変更によるリスクを軽減させる目的から、BABの現経営陣と協力しながら相乗効果を創出させるべく、経営していく予定です。BABが設立する予定の子会社の取締役の構成につきましては5名を予定しており、当社は、当該5名の取締役のうち、取締役会長に加えて、必要であればCFOを含めた3名の取締役を任命する予定です。なお、BABの主要株主であるFrançois GéninはCEOとして、もう一人の主要株主であるPing LuoはR&Dアドバイザーとして引き続き職務にあたっていただくことを予定しております。

以上

#### (参考) 当期連結業績予想 (注) 及び前期連結実績

(単位：百万円)	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
当期連結業績予想 (平成29年12月期)	2,907	231	266	147	△63	1.29
前期連結実績 (平成28年12月期)	1,306	△276	△385	△465	△513	△4.51

(注) 当期連結業績予想は、平成29年2月15日に開示した平成29年12月期の連結業績予想に、平成29年8月から12月までの5ヶ月間のBABの業績予想を加えて試算しました。今後、さらなる詳細な精査評価作業を行い、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。